

資料 6

令和 3 年度食品の安全性に関する有害化学物質及び有害微生物の
サーベイランス・モニタリング年次計画案（有害化学物質）（抜粋）

＜サーベイランス＞

海産毒素

危害要因	アザスピロ酸、ドウモイ酸、ブレベトキシン	
食品群・飼料	水産物	品目：ホタテガイ、マガキ、ムラサキイガイ
中期計画の優先度	A（期間内に実施） ・ B（可能な範囲で実施） ・ なし	
目的と経緯	【目的】 ・ 二枚貝の安全性を向上させる措置の必要性を検討するため、我が国周辺の二枚貝について貝毒の含有実態を把握。 【経緯】 ・ コーデックス委員会、EU、米国は二枚貝可食部について基準値を設定。現在、我が国から EU へ二枚貝を輸出する際には、当該基準値を超えないこととされている。 ・ H20～22 年度、農林水産省は全国の 28 道府県で採取した二枚貝について含有実態を調査し、最大でもコーデックス基準値をはるかに下回っていることを確認。 ・ H30 年度から実施中の農林水産省事業において、我が国近海でアザスピロ酸を産生するプランクトンを確認。 ・ 気候変動による二枚貝中のアザスピロ酸濃度への影響やドウモイ酸を産生するプランクトンの増加等が懸念されているが、近年の含有実態のデータが不足。	
調査対象品目 及び予定調査点数	ホタテガイ 120 点、マガキ 120 点、ムラサキイガイ 120 点	
備考		

